大会名 Competition	ウインターカップ２０１９秋田県予選会 男子決勝
NO, M-1	Year Month Day Time 2019 年 10 月 27 日 14 : 05
場 所 Place	能代市総合体育館

秋田県高等学校体育連盟
バスケットボール専門部

チームＡ		チームＢ
能代工	24 1st 7	秋田西
	23 2nd 18	
101	36 3rd 13	53
○	18 4th 15	●
	OT	

Crew Chief
中道　凌平
Umpire 1
大山　忠則
Umpire 2
相澤慎之介
ﾃｰﾌﾞﾙ･ｵﾌｨｼｬﾙｽﾞ:Table officals
大館桂桜高校男子バスケットボール部

No,	Pl-in	選手氏名 Name of Players		PTS	３Ｐ	２Ｐ	FT	F
4	×	須藤　陸		13	3	2	0	1
5	／	粟屋颯太		2	0	1	0	3
6	×	森山陽向		0	0	0	0	0
7	×	秋元淳之介		20	1	7	3	0
8	×	伊東　翼	CAP	17	2	5	1	1
9	／	上村悠真		8	2	1	0	1
10	／	上村大佐		0	0	0	0	2
11	／	佐々木駿汰		0	0	0	0	0
12	×	中山玄己		12	2	2	2	0
13	／	髙橋裕心		9	3	0	0	1
14	／	伊藤誠馬		5	1	1	0	0
15	／	成澤　頼		8	0	4	0	4
16	／	大石　隼		0	0	0	0	1
17	／	田中伶治		5	0	2	1	1
18		小形佳史		－	－	－	－	－
19		大野耀斗		－	－	－	－	－
20	／	井上翔太		2	0	1	0	0
21	／	佐藤光汰		0	0	0	0	1
ｺｰﾁ		小野秀二						
Aｺｰﾁ		山田尚光						
合		計		101	14	26	7	16

No,	Pl-in	選手氏名 Name of Players		PTS	３Ｐ	２Ｐ	FT	F
4	×	髙田省吾	CAP	7	0	3	1	3
5	×	菅生千斗		11	0	4	3	2
6		佐々木頼来		－	－	－	－	－
7	／	玉造大誠		0	0	0	0	0
8	×	能登陽希		4	0	1	2	0
9		小野健太		－	－	－	－	－
10		福田胡羽久		－	－	－	－	－
11		和田遼平		－	－	－	－	－
12		鈴木敦凱		－	－	－	－	－
13		淡路健太郎		－	－	－	－	－
14		佐藤侑也		－	－	－	－	－
15		阿部貴良		－	－	－	－	－
16	／	鈴木勇志		0	0	0	0	2
17	／	鎌田幸峻		5	1	1	0	1
18		阿部日彩		－	－	－	－	－
19		下間一輝		－	－	－	－	－
20	×	和田進之介		20	4	4	0	0
21	×	佐藤心星		6	1	1	1	1
ｺｰﾁ		小松和幸						
Aｺｰﾁ		佐藤有祐						
合		計		53	6	14	7	9

※×:ｽﾀｰﾀｰ　／:交代選手　PTS:ﾎﾟｲﾝﾄ　3P:3Pﾎﾟｲﾝﾄｼｭｰﾄ　2P:2Pﾎﾟｲﾝﾄｼｭｰﾄ　FT:ﾌﾘｰｽﾛｰ　F:ﾌｧｳﾙ

男子の決勝は２年連続のウインターカップ出場を目指す能代工業と、初の栄冠を目指す秋田西の対戦となった。
第１Q能代工業はオールコートの激しいディフェンスで試合の流れをつかむ。秋田西はゾーンディフェンスで対抗するも能代工業は＃６森山、＃７秋元を中心にオフェンスリバウンドを拾い、セカンドチャンスにつなげる。＃７秋元のミドルシュートや＃８伊東のドライブなどで得点を重ねる。残り６分となって８－０となったところで秋田西はたまらずタイムアウトを取る。秋田西は＃４髙田にボールを集め、対抗する。残り２分を切り、秋田西＃４髙田が力強いゴール下でのプレーで得点を重ねるも流れを変えるには至らない。終了間際に能代工業＃８の伊東が３Pを沈め、２４－７とリードして１Qが終了する。
第２Qに入っても能代工業は＃８伊東がゲームをコントロールする。素早いパス回しで秋田西のゾーンディフェンスを崩し、＃４須藤、＃１３髙橋の連続３Pで得点を伸ばす。一方の秋田西は能代工業のシューター陣に素早いシュートチェックをしてプレッシャーをかけ、ディフェンスリバウンドを手堅く確保して反撃に転じる。＃８能登の速攻や＃２０和田、＃１７鎌田らの３Pで対抗する。終了間際に能代工業の＃８伊東からの鋭いアシストから＃７秋元がゴール下を決め、４７－２５と差を広げて２Qを終える。
第３Qに入り、秋田西が反撃に転じる。＃５菅生の連続得点や＃２１佐藤の鋭いドライブで差を縮める。しかし能代工業は＃１２中山が２本の３Pを決めて流れを渡さない。その後も＃７秋元の３Pやリバウンドからのゴール下で得点を伸ばす。秋田西はオフェンスの足が止まり、能代工業の激しいディフェンスを崩すことができない。終盤に秋田西は＃２０和田が３Pを決めるも、能代工業は＃９上村（悠）が３Ｐを沈めて流れを渡さない。能代工業は３Qだけで６本の３Pを決め、８３－３８とリードを広げて３Qが終了する。
第４Q序盤、秋田西が反撃を見せる。＃２０和田の連続得点や＃５菅生のドライブで得点する。しかし能代工業は落ち着いてパスを回し、＃１４工藤らが３連続で３Pを決めて応戦する。秋田西は＃２０和田が連続で３Pを決めて必死に食い下がるも、能代工業はメンバーを変えながら豊富な運動量で終始主導権を握る。
終盤の秋田西の反撃に落ち着いて対処した能代工業が、通算４８回目のウインターカップ出場を決めた。

文責　【　佐々木隆介（能代松陽高校）　】